

教員コラム

『読書のススメ』

教授 堀田浩之

昨秋、文化庁が公表した「国語に関する世論調査」によると、「読書月〇冊」が6割を超えたようです。一番の要因は、スマートフォンやタブレットの普及で、長文離れが進んでいるとのこと。教育現場でも、小学校からタブレットが普及しICT化が進んでいる一方、乳幼児期の絵本との出会いや、小学校の読書の時間の感動が忘れ去られているようで、平均2週間で3冊を読む（と言っても、ミステリーや時代小説など乱読ですが）図書館長としては、忸怩たる思いがします。

「読書は人格形成に利点があるツール」といわれています。スマートフォン等に向き合う時間を減らして、書店や図書館に向き、本と触れ合う時間を増やしてみてください。きっと新しい出会いが待っているはずです。

担当授業紹介・ キャリアデザイン演習

特任専任講師 木村 雅代

授業では、学生が自分の生き方を考え、自立する力を養うことを目的に、社会人としての基礎力やマナーを学び、社会活動を通じて多様な価値観に触れる機会を設けています。

今年度は、学内成人式後のティーパーティーを企画・実施する機会をいただきました。生活環境学科の学生たちは「バリエコア」というテーマを決め、会場設営や装飾、進行、ケータリングの手配などを分担し、準備を進めました。当日は飾り付けや接客など、それぞれが責任を持って取り組み、II回生を祝う場として、ゲストの皆さまを温かく迎えることを心掛けました。

この経験を通じて、学生たちは主体的に動くことの大切さ、企画を実現する難しさややりがいを実感したようです。また、準備を重ねることで想定外の出来事に対応できることや、自分の強みを仲間と共有し、協力して取り組む意義を学ぶ機会となりました。

